

平成25年度有料化財源活用事業の予算について

総括表

(単位:千円)

項目	25年度予算
定期ごみ・資源ごみ処理手数料 A	1,921,700
有料指定袋制導入必要経費 B	586,200
有料化財源 C (A-B)	1,335,500
基金取り崩し D	139,000
財源活用額合計 C+D	1,474,500

財源活用事業内訳

(単位:千円)

25年度項目	25年度主な事業内容	25年度予算
発生抑制, 再使用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・包装材削減推進京都モデルの構築 ・KYOTOエコマネーの活用 ・イベント等のエコ化の推進 ・大型ごみのリユースモデル実施 	28,200
ごみ減量普及啓発等	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量及び適正排出促進の普及啓発 ・環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」 ・資源物の持去り禁止等啓発パトロール 	38,500
ごみ減量推進会議の活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市民・事業者とのパートナーシップによるごみ減量活動の推進 	36,000
ごみ減量活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ・落ち葉の堆肥化等の活動支援 ・地域単位で資源物を回収するコミュニティ回収事業 ・使用済てんぷら油の市民回収奨励事業 ・生ごみ減量推進事業 	127,500
資源物回収事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・紙ごみリサイクル推進事業 ・包装紙等の雑がみの分別リサイクル拡大に向けた社会実験 ・資源物回収拠点の設置 ・リユースびん, 蛍光灯の拠点回収 ・小型家電リサイクル事業 ・有害・危険ごみ等の移動式拠点回収事業 	96,000
空き缶, 空きびん, ペットボトルのリサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・缶・びん・ペットボトルの資源ごみをリサイクルセンターで選別・再資源化处理 ・施設運営費として活用 	132,300
プラスチック製容器包装のリサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・資源の有効利用と地球環境負荷の軽減を図るため, プラスチック製容器包装の分別収集の実施 ・施設運営費として活用 	262,200
家庭ごみの防鳥用ネット貸出事業	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭ごみの防鳥用ネットの貸出 	15,000
地域団体への不法投棄監視カメラ等の貸与	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄監視カメラ等の貸与 	700

(単位:千円)

25年度項目	25年度主な事業内容	25年度予算
再生可能エネルギー利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽エネルギー利用促進事業 ・京都市市民協働発電制度の支援業務 	204,900
家庭部門における地球温暖化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・「エコ学区」事業 ・「DO YOU KYOTO?」プロジェクト ・147万人推進事業 ・環境にやさしいライフスタイルへの転換プロジェクト ・こどもエコライフチャレンジ推進事業 	74,300
次世代自動車普及促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・電気自動車等用の充電設備設置補助 	5,000
バイオマス活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や事業所における生ごみ等のバイオガス化の実証検討 	6,300
環境政策局以外の充当事業	<ul style="list-style-type: none"> ・森の力活性・利用対策 ～地球温暖化防止森林吸収源対策～ ・商店街街路灯LED化推進事業 ・木質ペレット需要拡大事業 ・京都発森林バイオマスエネルギー利活用推進事業 ・街路樹整備事業 ～花の道づくり, 道路の森づくり～ ・LED道路照明灯の設置 	347,600
当初予算における京都市民環境ファンド積立		100,000
合計		1,474,500